

「パルスオキシメータによる経皮ヘモグロビン（SpHb）測定における人工心肺使用の影響」のお願いとお知らせ

手術中に患者さんの出血の有無などの情報をいち早く把握するため、パルスオキシメータという機器を用いて皮膚の上から光を当てて血液の状態をモニターします。この方法はとても正確で、医療の安全に大きな貢献をしています。しかしながら、人工心肺を用いた患者さんの場合何らかの理由により、パルスオキシメータの値にわずかな誤差が生じるという可能性が示唆されました。そこで今回、今までの記録を基に人工心肺を用いた時にパルスオキシメータの値に誤差がなかったのか、検証することにしました。

2011年1月1日から2015年10月31日までの手術記録を対象に、パルスオキシメータの値を収集します。また、患者さんの臨床データ（年齢、性別、身長、体重、麻酔時間、手術時間、麻酔方法、出血量、輸血量、総ヘモグロビン量、人工心肺時間）も同時に収集させていただきます。

情報の収集にあたってはID等の個人情報とは無関係な番号付与による匿名化を行い、佐藤泰司が患者情報を取りまとめ管理します。これまでの既存情報のみを用い、新たに研究のために患者さんから検体を採取したり検査を行うことはありません。

患者さんの臨床情報はID等の個人情報とは無関係な番号付与による匿名化によって管理され、プライバシーが保護されます。また、これまでに手術を受けた患者さん（または親族の方）で、ご自分の臨床情報を研究に使わないで欲しいというご希望があれば下記連絡先までご連絡をいただけますようお願いいたします。

なお、研究への情報使用の拒否の意思を表明されても、診療には全く影響なく、いかなる意志においても不利益を被ることはありません。

連絡先：防衛医科大学校 薬理学、麻酔科

佐藤 泰司

TEL：04-2995-1211 内線 2339